

みなしご通信



動物に優しくない日本の法律

8月6日は広島原爆の日です。原爆投下当時、母方の家族は全員海外にいたけど広島市内にいた父方の家族は父も含め全員被爆者という家庭環境の中、その恐ろしさを間近に感じながら原爆が投下された場所から10キロぐらいのところでは生まれ育った私が2020年の8月6日に思うこと。日本の動物の命にかかわる法律はほとんどがめっちゃくちゃ。狩りをしてもいいよ、という動物の種類が多いのよね。

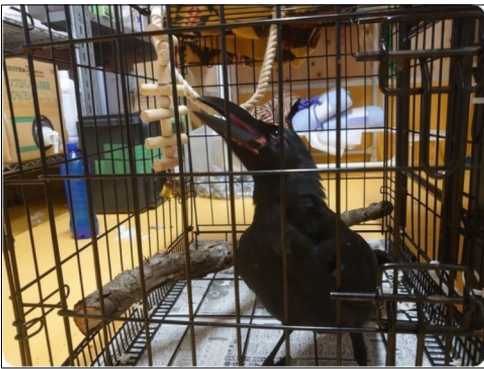
そろそろ日本も先進国の仲間入りを果たすべく動物にも心を配るような紳士的な法律を作ったらどうなんでしょうかね。私は普通の人より多くの野生動物を育てとりますが知識も経験もないからラクに育てている

わけでもないし、それを

《うたい文句に》寄付を募っているわけでもないし野生動物を《見世物》にして人の気を集めているわけでもない。ただ【目の前にいる命を助けたいだけ】この気持ちには伴侶動物である犬猫に対する気持ちと同じ。だから難しい事態に直面しても放り出すことなく獣医師を含む有識者の方々から貴重な意見を乞いながら命と向き合い続けているのです。巣から落ちた幼カラスは飛ぶこともできず、かと言って親カラスが抱いて巣へ連れ帰ることもできずやがて死ぬしかない。そんな光景を偶然目撃してしまった時『どくやつたら助けることができるかな』私の頭に浮かぶのはそればかりです。普通の幼カラスは巣から落

ちないわけだから落ちた幼カラスは身体的な問題を抱えている場合が多いです。幼カラスを育てるということはそんな悲しいリスクも背負いながら親カラスがやっているように消化吸収のいいものを【日の出から日の入りまで】短時間おきに食べさせ続けねばならないのです。鳥は空を飛ぶ生き物だから成鳥として1回の食事です。たくさんは食べられません。

と言うことは成鳥になっても自分で食べることができない子には一日中少量を食べさせ続けねばならず逆に言うと幼鳥を育てる時のように期間限定じゃないから《終わりのない》労力が必



【雑木林復活】栃木拠点の雑木林が生き返りました。枝を剪定したお蔭で太陽の光が地面まで届くようになり雑木林が生きてるって感じがします。やっぱり太陽は神様。全ての生き物をイキイキと生かしてくれます。単純に考えたら日本中の山々がこんな感じになれたなら野生動物たちの食べ物も増える気がするんですけど、どうなんでしょうね…。

要になります。栃木拠点に来たあぐちゃんもそう。理由はわからんけどすでに自立できる月齢なのに自分で食えることができないのです。すなわち一時間おきに食べさせねばならないのです。

豪雨で山が崩れ用水路に流され瀕死の状態だったウリ坊のカンジもそう。狩猟鳥獣に指定されていようがいまいが、害獣と呼ばれていようがいまいが、目の前で息をしているのに知らんぷりできますか？法律を守らにやいけんことぐらい私だっけわかってます。けど私は自称・動物愛護家。目

の前にいる命を助ける選択をします。私の姿を見ると「ブヒブヒ」鳴いて甘えるこの命を無視できますか？猪突猛進なのでミルクが入ったお皿に突進しては毎回《必ず》ミルクをこぼします。こんなヤツですけど私はカンジを大事に育てています。ある時、カンジがケージをチュウチュウしていました。その時に舌を上手に内側に巻いていたのでカンジはまだお母さんの母乳を飲んで育つ時期なんじゃ…と思いました。ミルクをお皿で飲んでくれるけど、これじゃ《カンジの心は満



たされん」それから半分はお皿、残りの半分は哺乳ビンの二重生活に変えました。猪突すぎて落ち着いて前をよく見てくれんので他の動物みたいに最初から哺乳ビンで飲ませることはできませんが、お皿でミルクを飲ませて少し落ち着かせてからなら哺乳ビンが使える：そうすることでもちよつとでもカンジの心が満たされれば：と思ひながら。お母さんの母乳を飲んで育つ哺乳類は授乳中にお母さんとのつながりを感じ安心して信頼していきます。この時期にうんと甘えさせておかないと意思疎通ができず、愛情がわからない寂しい子どもに育ちます。これは私の持論です。カンジはお皿から哺乳ビンに変えたとき、目がうつとりしてきて眠そうになります。これが《母と子》の《安心のきずな》だと思ひます。哺乳ビンが終わったら、私の手のひらにミルクでベトベトになっ



【お盆の恒例行事】8月13日は《迎え火》を焚く日です。すなわち、先立って逝ったうちの子たちが帰ってくる日。犬猫みなしご救援隊では広島本部でも栃木拠点でも同時多発的に焚きました。

今年の受付小屋に祭壇を置きました。これから16日の《送り火》までこのまま：暑いけど頑張ってください！！

てる鼻をこすりつけながら全身で甘えてきます。これが《母と子》《私とカンジ》の大切なひとときです。かわい鹿のUPAちゃん♪UPAは生まれてすぐまだ羊膜を身につけた状態で山から落ちて来た子。だから真正銘生まれた時から私が人工乳で育てた子です。胎便らしきフンを出してからどうやっても下痢が治らず、ものすごく悩みました。運よく牛の初乳にたどりつき元を取り戻してくれたけど、そうなるまでにどれだけの人に相談したか：日本国は鹿のことを害獣だと決めつけているけど、UPAを助けるために何人



の有識者の方たちが知恵を絞ってくれたか：。

名古屋と東京を結ぶリニア中央新幹線なんて日本アルプスに穴を開けるわけじゃろ？そんなの《生態系が崩れる》どころの騒ぎじゃないでしょ。山奥で静かに暮らしていた野生動物たちの食べ物や棲み処がなくなつて致し方なく人里に出るよ。どうせ、狩猟と言う名で大量虐殺するんじゃない？おかしい：おかしいよ。日本はどこを指しとるん？先進技術にばっか走って心が置き去りにされとるよ。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



犬猫みなしご救援隊

〒731-0234

広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2

TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(<http://www.minashigo.jp>
(<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>))に
掲載しております。



ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
(<https://japangiving.jp/supports/1281>) 皆さまからのご支援、よろしくお願ひいたします。